

# すべての子どもたちに豊かな運動文化を

## —つくりようや！「わかって・できて・学び合う」体育・健康教育実践—

学校体育研究同志会は創立以来、「すべての子どもが運動文化の主人公になること」を学校体育の目的として、「子どもの運動の喜びを高める技術指導」や「学習集団の質を高め、学び合うグループ学習」について実践・研究を続けています。子ども・教育を巡る課題は年々厳しさを増します。今こそ、真に「豊かな学び」「未来を切り拓く授業実践づくり」が求められます。創立 60 年を迎える本大会では、授業実践づくりにおいて大切な柱である「わかること」、「できること」、そして「学び合うこと」について実践・研究を深め、今後の体育・健康教育を創造する研究大会をめざします。これからの授業実践づくりの展望が抱ける「元気の出る大会」をともに創っていきましょう！

## 大会期日：2015年8月1日（土）～3日（月）

開閉会行事 箕面（みのお）観光ホテル（〒562-0006 大阪府箕面市温泉町 1-1 072-723-2324）

分科会 吹田市立青山台小学校 池田市立呉服（くれは）小学校 豊中市立桜塚小学校  
豊中市立桜井谷小学校 豊中市立豊島（てしま）小学校 豊中市立西丘小学校  
箕面観光ホテル

文化交流の夕べ 箕面観光ホテル

### 大会日程

	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
8月 1日 (土)	(全国総会)		11:30~ 12:30 受付	12:30~15:10 開会行事			15:30~ 17:00 分科会①	17:20~18:50 特別講座		19:00~ 20:30 夕食・入浴			
8月 2日 (日)	9:00~12:00 分科会②		12:00~ 13:00 昼食	13:00~16:00 分科会③			16:00~18:30 移動・入浴		18:30~21:00 文化交流の夕べ				
8月 3日 (月)	9:00~11:30 分科会④		11:45~ 12:30 閉会行事										

### 受付場所

※8/1（土）8/3（月）・・・箕面観光ホテル  
 ※8/2（日）・・・各分科会会場  
 （各小学校、箕面観光ホテル）  
 提案集やHP等で確認して会場にお越しください。

◆◆大会についての問い合わせ先◆◆  
 学校体育研究同志会全国研究大会（大阪・みのお大会）  
 事務局 前田雅章 連絡先TEL090-3826-3721  
 E-mail doshikaiosakaminoo@yahoo.co.jp

◆◆申し込み手続きについての問い合わせ先◆◆  
 別紙の参加申込書を参照してください。

主催 学校体育研究同志会 〒160-0023 東京都新宿区西新宿 8-2-34 新宿マンション502  
<http://taiiku-doshikai.org/>

主管 学校体育研究同志会全国研究大会（大阪・みのお大会）実行委員会

協賛 (公財) 日本教育公務員弘済会大阪支部

後援 大阪府教育委員会 吹田市教育委員会 箕面市教育委員会 豊中市教育委員会 池田市教育委員会  
 毎日新聞社 朝日新聞社 読売新聞大阪本社

8月1日(土)

# 開会行事

12:30~15:20

箕面観光ホテル

## 開会セレモニー

劇

みなさん、ホッとできてますか？今、大人も子どもも大忙し！教員評価制度や生活格差の拡大などにより、自分のことでいっぱい現状となりつつあります。だからこそ、今「つながる」ことが必要なのではないのでしょうか？

つながることの嬉しさ、表現することの楽しさ、ともに創ることのすばらしさを、若手プロデュースによる劇で届けます。\*大会要項には「荒馬&劇」となっていますが「劇」に変更します。

## 基調提案

大会3日間の研究の柱となるのが基調提案です。同志会は60年間、「運動文化の主体者形成」を、実践研究で求めてきました。本大会では実践づくりで大切なことを「子どもの示す事実や変化」をもとに明らかにします。

同志会60年の研究成果を振り返り、大会の研究課題とこれからの実践づくりの課題をわかりやすく提案します。

## 記念講演

# 「体育・スポーツのこれまでとこれから」

— 今こそ、日本の体育・スポーツ界の体罰問題を乗り越え、豊かな運動文化に飛躍させる時 —

森川 貞夫 氏 (日本体育大学名誉教授・市民スポーツ&文化研究所代表)

いっけん豊かに見える現代日本の中で、なぜ、今なおスポーツ界におけるしごき(体罰)は根深く存在するのか。そこには、戦前から脈々と続く日本の教育体制やスポーツ界の構造的な問題があります。そういった歴史的背景をひもとくことで、問題点がうきぼりになり、今後の展望が開けてくるのではないのでしょうか。この問題を考えることは、競争原理で人間疎外を生み出すすべての現代日本の教育体制を問い直すことにもつながるでしょう。

一方、2011年には「スポーツ基本法」が施行され、人々を結びつけ豊かな生活を営むために体育・スポーツの果たす役割がますます期待されています。その理想を実現していくために私たちは、どんな体育実践・スポーツ実践をしていくことが求められているのかを広い視野から語っていただきます。

8月1日(土)

# 特別講座

17:20~18:50

箕面観光ホテル

◇◆体育同志会研究の歴史や大阪の問題から学ぶ◆◇

A	◇同志会創立60周年記念◇ 永井 博 氏 (新日本スポーツ連盟会長)	—先駆教材『ドル平』研究秘話— 同志会第一世代である永井先生に、体育同志会が創設された当時の若い先生方の意気込みや問題意識、その結果『ドル平』の技術指導研究へと進んでいった状況やそこでの論議といった研究過程を、存分に語っていただきます。
B	◇大阪の教育現場◇ 中川 豊 氏 (岸和田市教員) 浦田 直樹 氏 (秋桜高校教員) 小山 民 氏 (秋桜高校教員)	—困難から希望、そして展望へ— 奈良大会(2005年)以後の大阪の社会・教育情勢変化や、それに対する取り組みを学びます。また、厳しい競争管理社会・教育情勢を背景に希望を失った子どもたちの成長をはげましている通信制私立高校の実践から、教育観・子ども観を共有し、希望をつむぐ教育について考えます。
C	◇大阪の健康教育を考える◇ 岡田 陽子 氏 (泉南アスベスト訴訟原告患者) 伊藤 泰司 氏 (国賠訴訟を勝たせる会事務局長)	—泉南アスベスト問題— 2014年10月大阪泉南アスベスト国家賠償裁判(最高裁)では原告の勝訴となりました。今後アスベストを利用した建築物取り壊しで市民レベルの健康問題に発展する恐れもあります。安価なアスベストによる金儲けが、労働者の命や健康よりも優先されてきた歴史を学び、健康教育の果たし得る可能性について議論します。

◆◆大阪の民間教育研究団体から学ぶ◆◆

D	◇作文教育◇ 土佐 いく子 氏 (なにわ作文の会)	<b>—子どもの生きる希望を育む作文教育—</b> 作文教育の入門的なお話を中心に、多忙化の中で何を大事に子どもと向き合っていけばいいのか？“子どもがかわいくなる”“子どもに会いたくなる”お話をたっぷり語っていただきます。
E	◇仮説実験授業◇ 富田 秀紀 氏 (仮説実験授業) *変更があり講師は富田秀紀氏になりました。	<b>—たのしい授業への招待「仮説実験授業をはじめよう」—</b> 授業書《でんきをとおすもの、とおさないもの》を使って仮説実験授業を実際に体験します。そして仮説実験授業とは？子どもたちがはまる裏側に、どんなしかけがあるのか？語っていただきます。
F	◇社会科教育◇ 平井 美津子 氏 (歴史教育者協議会)	<b>—平和学習ABC「広島 or 沖縄を教材に」—</b> 戦争や加害・被害の実態を教える際に、事実をどうとらえて授業をつくっていけばいいのか？戦争をどう教材化すればいいのか？その視点を、具体的な教材を通してお話していただきます。
G	◇理科教育◇ 三上 周治 氏 (科学教育研究協議会)	<b>—性教育を科学的な視点から—</b> 科教協の「性教育」を紹介していただきます。中学校などで実践された「10代の性／妊娠・出産」「少女から女性（母）の体へ」のテーマから、性教育を科学的視点で語っていただきます。
H	◇国語科教育◇ 野澤 正美 氏 (文芸教育研究協議会)	<b>—ものごとの本質にせまる国語科教育—</b> 国語の基本的な授業の進め方が学べます。詩や物語『だからわるい』を教材とし、文芸研で大切にしている「言葉の教育」から「人間の真実」「ものごとの本質」にせまります。

8月2日（日） **文化交流の夕べ** 18:30～21:00 箕面観光ホテル

☆北海道から沖縄まで、全国各地から今大会に集まる仲間とたのしく交流します。分科会の充実とともに、文化交流の夕べは研究集会を支える大きな柱のひとつです。

☆各支部、各分科会に受け継がれる大レク芸を、みんなとともにたのしみましょう。

☆同志会 60周年記念映像で、みんなで同志会の歴史をふり返りましょう。（大会当日の映像もあります！）

☆「同志会っていいね！こんな仲間が全国にいるって、心強い！！最高！！」とつながり合い、平和であることをかみしめ、これからもずっと平和を守っていくことをみんなとともに誓い合ひましょう。

**\*文化交流の夕べは定員に達しましたので申込受付を終了しました。7月21日（火）**

8月3日（月） **閉会行事** 11:45～12:30 箕面観光ホテル

**【大会のまとめ】**  
今大会では、全日程を通して60年の同志会の研究実践を振り返り、その成果と課題を参加者みんなと考えます。同時に、同志会の研究運動の未来を考える大会でもあります。今大会の研究成果と、これからの課題を全体で共有します。

**【阿蘇大会への引き継ぎ式】**  
60年の節目を終え、来年は約20年ぶりに九州阿蘇の地で、新たな一步を踏み出す大会となります。  
熊本・阿蘇での大会に、大阪からの熱いエールと期待を込め、同志会の旗を渡します。

# 1日(土)～3日(月) 分科会 吹田市、池田市、豊中市内の小学校 箕面観光ホテル

大会は分科会での学びを中心に展開していきます。大会サブテーマにあるように「わかって・できて・学び合う」体育・健康教育の実践づくりを、各分科会で三日間通して追求していきます。

番号	分科会名	分科会 内容 紹介	教材・学年	実技
1	障害児体育	特別支援教育制度が始まって9年目を迎えます。現場では子どもの発達を保障するような豊かな運動文化を伝える実践が行われているのでしょうか？特別支援教育の授業で一番悩むのは教材づくりです。今年は「ボール運動」と「マット運動」の教材を通して検討します。	マット運動 ボール運動 (支援学級) (支援学校)	有 屋内
2	幼年体育	幼年分科会では、幼児期に身につけるべき力を意識した、発達段階に応じた運動遊びの系統的な指導のあり方を検討します。それは、単に〇〇ができるということではなく、子どもたちがワクワクするような楽しい運動遊びを展開していく観点から検討し、実技を通して楽しみながら交流・研究していきます。	民舞「荒馬」 (0～6歳児)	有 屋内
3	小学校 低学年体育	低学年の子ども達にどんな内容を学習させるのか、どんな力をつけるのかについて議論します。また、実技を通して、低学年の発達段階に合った指導方法や練習を検討します。	シュートボール(小2) マット遊び (小1)	有 屋内
4	小学校 中学年体育	小学校3年生のマット運動とサッカーの実践提案をもとに、中学年体育で「学ばせたい中身・育てたい力」を考えていきます。さらに、子どもの生活課題と発達・認識との関係を視野に入れた議論をします。	マット運動 サッカー (小3)	有 屋内
5	小学校 高学年体育	高学年の子どもたちの生活実態・発達課題を交流します。二つの実践を通して高学年にふさわしい主体的な学びを目指す授業づくりを考えます。	フラッグフットボール バスケットボール(小6)	有 屋内
6	中学校体育	どの子もうまくなり楽しめる授業にするために何を学ばせるか、義務教育終了時に身につけさせる共通教養を展望し、生徒の実態に合わせた指導を検討します。フラッグフットボール、バレーボール、剣道の実践提案を行います。	フラッグフットボール バレーボール 剣道(中2)	有 屋内
7	高校体育	高校生の実態やとりまく状況などを明らかにしながら「つけたい学力」について討論します。また、その学力に実践でどう迫るのか、ソフトボールとテニスの実践提案を受けて検討します。	ソフトボール テニス (高校)	有 屋内
8B	「戦略・戦術」 バスケット ボール	バスケットボールの歴史的な歩みも含めつつ「運動文化」としてトータルに学びます。戦術的な課題や小学生から中高生までつながる系統的な指導のあり方を深めます。ゲームの中で生きる二人のコンビネーション(ディフェンスを意識した)を中心に実技と実践提案を通して学んでいきます。	バスケットボール (小高学年)	有 屋内
8F	「戦略・戦術」 フラッグ フットボール	フラッグフットボール教材の戦術を学び、みんなが活躍できるボール運動の授業づくりを行います。実技では2人対2人で基礎となる戦術的課題や技術を学び、実践提案をもとに3人以上のゲームへとつなげていく授業過程を検証します。	フラッグフットボール (小中・高学年・高校)	有 屋外
8S	「戦略・戦術」 サッカー	攻防入り乱れ型教材の入り口としての「モブフットボール(サッカーの原型)」と技術習得から作戦・戦術学習へとつなげる「サッカー」の2本の実践提案に学びます。サッカーで教えるべき教科内容についての検討も深めます。2日目の最後には、『同志会東西対抗戦』を開催します。分科会の枠を超えての参加をお待ちしています!!	モブフットボール(小2) サッカー (高1女子)	有 屋外

9	「表現」 器械運動	実践報告を実技を交え検討します。今までの研究成果を踏まえて「マット」「跳び箱」「鉄棒」の指導法やからだの動かし方についてともに学んでいきます。「指導法がわからない」「示範ができるようになりたい」などのニーズにもこたえられる分科会です。	グループマツト（小4・5） マット遊び（小1）	有 屋内
10D	「舞踊表現」 ダンス	「からだのしくみと動きの成り立ち」を学び、子どもたちの内発的な動きを引き出し表現につなげる指導方法を考えます。日常生活の中で身体感覚を高める小学校での具体的なワークと、中学校での男女共修のダンス授業の実践提案をします。ダンスの苦手な方も新しい世界が広がります！	ダンス（小学校） （中学校・男女共修）	有 屋内
10M	「舞踊表現」 民舞	自然なからだづかいで形づくられている民俗舞踊は、子どもたちのからだを耕し、心を開く豊かさを持っています。日本各地に伝わる民俗舞踊に共通する「理にかなった動き」を探るワークと、背景にある文化性や民俗の願いを教材化した実践の検討を通して「民舞で育てたい力」について考えます。 <u>*当日は足袋を持参してください。</u>	沖縄「エイサー」	有 屋内
11	「記録・競争」 陸上	基調提案では、この間の分科会で提案されてきた「あてっこペース走」や、スピードという目に見えないものを可視化するために工夫した「リボン走」を、実践提案を通して検証します。また、低中学年における障害物走・リレーの実践についても検討を行います。	リボン走（小4） 障害物走・リレー（小3）	有 屋外
12	「水辺文化」 水泳	基礎泳法として「ドル平泳法」を位置づけ、実践研究を積み重ねています。ドル平泳法の指導過程の見直しや確認、近代泳法の指導とのつながりなどを実践報告をもとに検討します。また、プールでの近代泳法だけにとどまらず、「水辺文化」を意識した幅広い実践の可能性も探っていきます。 <u>※当日は水着を準備してください。</u>	水遊び ドル平 近代泳法	有 プ ール
13	健康教育の 授業づくり	からだや健康問題の学習を進める上で、子どもたちの生活を見つめ、背後の社会問題、現実の課題に向き合うことが欠かせません。子どもたち、父母、地域の方、教職員仲間とともに創っていく授業づくりの方法を学び合います。子どもたちや教師にとって「健康教育」はどんな意味があるのかをみんなで考えましょう。	水俣病（小5） 公害（小5）	無
14	体育理論の 授業づくり	2020年東京で第32回夏季オリンピックが開催されます。東京都を中心に行政主導による「オリンピック教育」が推進されています。その内容を検討すると共に、私たちの考える「オリンピック教育」の内容と方法を考え、実践計画を立案します。	オリンピック（小3） （中学）	無
15	子ども・ スポーツ・ 社会と学校づくり	すべての子どもを大切にする学校と地域のあり方をさぐります。すべての子どもをすべての教職員で見守り育む和歌山の小学校と大阪の高校の実践、文化創造を通して子ども、親、地域が育つ「播州わらべよさこい」10年の実践からテーマに迫ります。	学校づくり（小・高校） よさこい（地域）	無
16	グループ学習	「みんながわかってできる」ためにはグループ学習による学び合いが必要です。今大会では基調提案にて体育授業におけるグループ学習の基本的な考え方や指導方法を理解します。2つの実践提案では学習集団形成の成果と課題に学びながらグループ学習による授業づくりを考えます。「みんな」が学び合う体育授業をめざして議論しましょう。	跳び箱運動（小5） フラッグフットボール（小4）	無

◆◆各分科会の会場につきましては、申し込み受付後、送付する「大会提案集」でお知らせします。

# 子ども学校 【OSAKA子ども冒険倶楽部(ぼうけんくらぶ)】

コンセプトはグループ学習「みんなで、やって、わかって、できる」



本格的なラフティングをメインに様々な川や森での自然あそび。川魚の釣り方、えさの調達、虫取りや魚等の仕掛けの作り方、釣った魚の調理の仕方など。奈良県の清流吉野川が活動拠点です。活動の合間合間には、つくって食べる。三食とも自炊。おやつも自作、大阪粉もん伝説の数々。たこ焼き、焼きそば、お好み焼き。竹細工で作った食器や道具でそうめん流し。ちょっとお洒落にバウムクーヘンや石焼き窯で焼いたピザも楽しみ。簡単燻製で出てくる食材は釣り上げた川魚かな？すべての食事はボランティアの大学生を助っ人にグループごとに作ります。自宅に帰れば、男の子も女の子も、きっと「いっちょまえ」のアウトドアコックになっているはずですよ。

「働かざる者、食うべからず」「自分たちでつくったものに、まずいものなし」を合い言葉に「主体的で積極的に」。そして「仲間と共にとくましく」2泊3日での大成長を目指します。

	午前	午後	夜
8月1日(土)		バスレク、たこやきパーティ、焼きそば、竹細工、仕掛け作り(虫・魚)	流しそうめん 仕掛け仕込み(クガタ、カブト・魚や鰻か鯰)
8月2日(日)	虫取り、魚取り ピザで朝食 魚釣り 工作(記念品)	パエリア、サラダ、燻製、お好み焼き ラフティング、川遊び、工作	手打ちうどん てんぷら、炊き込みご飯、 キャンプファイヤー
8月3日(月)	手作りパンで朝食 工作 バウムクーヘン作り	移動 解散式	

◇活動場所・宿泊先：奈良県五條市原町312 ロッジカルディア TEL 0747-22-7120

◆対象：小学校1年～中学校3年

◇定員：20名 **\*申し込み先着順です。定員に達しましたので申込受付を終了しました。7月15日**

◆費用：20,000円(宿泊・食事・交通費・活動費・材料・保険料など)

## 保 育 【もんちっち保育園】

箕面は山々に囲まれた自然豊かな観光地。その山々には、たくさんのサルたちが住んでいることでも有名です。

ホテル周辺の散策、昆虫館などにでかけ、子どもたちは楽しい時間を過ごします。

◆場所：箕面観光ホテル

◇対象：3歳児(年少)から ◆定員10名 申し込み先着順です。

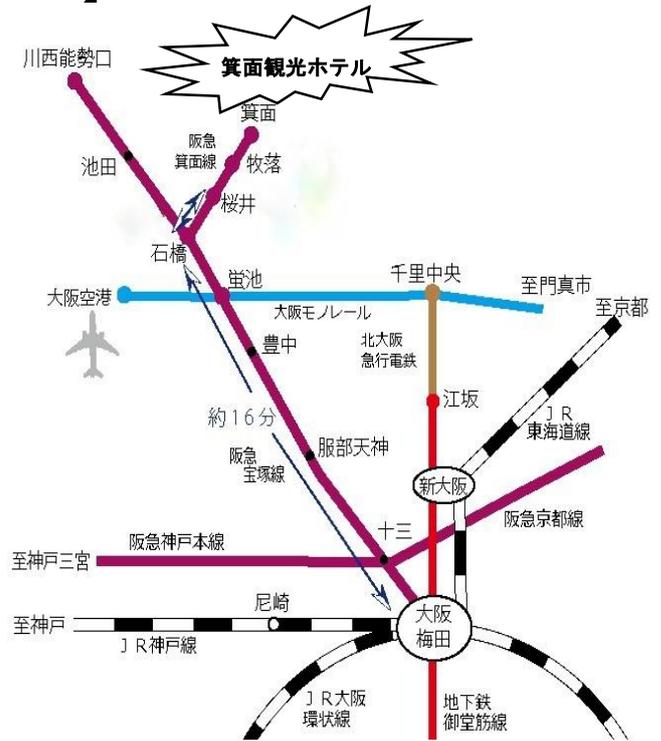
◆費用：8月1日(土)と3日(月)は、各3,000円。

8月2日(日)は、5,000円。

(おやつ・保険料・昼食などを含みます。)



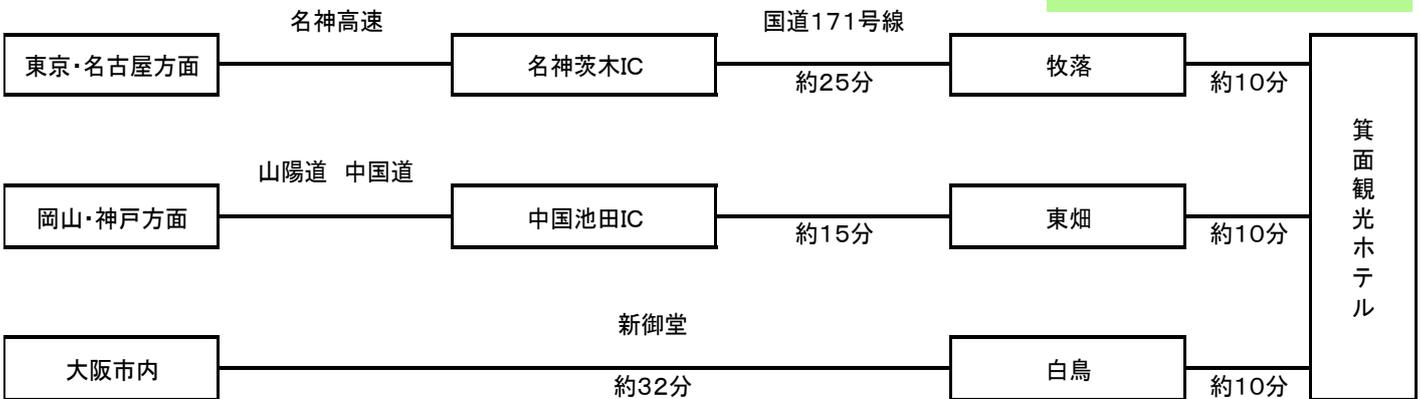
# 【箕面（みのお）観光ホテルへのアクセス】



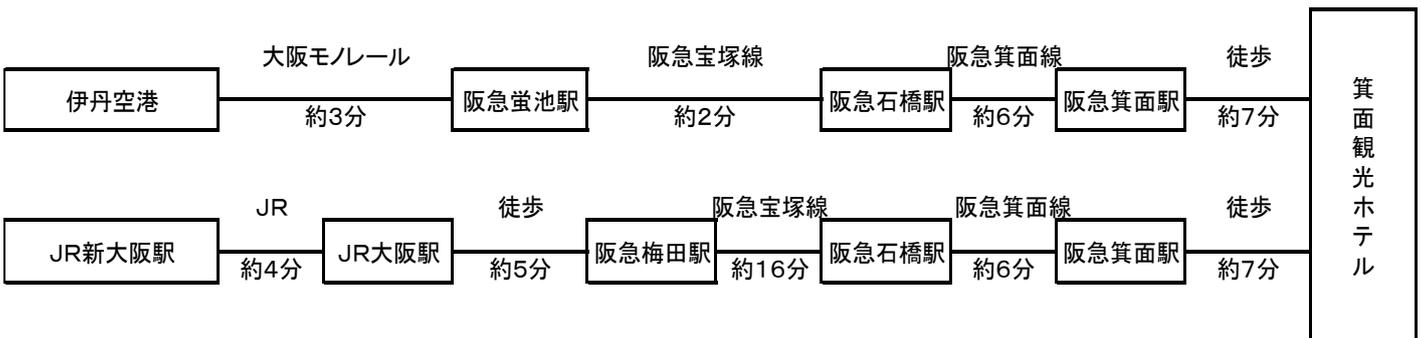
## 【箕面観光ホテルへのルートご案内】



### ◇車でお越しの方は



### ◇飛行機・電車でお越しの方は



\* 各主要駅から箕面観光ホテルのシャトルバスが出ています。これについては、箕面観光ホテルのHPをご覧ください。  
<http://www.oedoonsen.jp/minoh/access-bus.html>

## 【 参加申し込み要項 】

### ●参加形態および参加費

- ①参加形態：1日・2日間・3日間とありますが、分科会は3日間ともありますので3日間の参加をおすすめします。
- ②参加費：3日間 9,000円(学生4,500円) 2日間 7,000円(学生3,500円) 1日 4,000円(学生2,000円)  
部分参加(開会行事) 1,000円 ※参加費には提案集の費用を含みます。
- ③文化交流の夕べ(8月2日) 箕面観光ホテル 宿泊者 4,660円 通い参加者 8,100円  
※会場の関係上、席数に限りがありますので、先着順となります。  
**⇒定員に達しましたので、申込受付を終了しました。7月21日**
- ④弁 当：8月2日 飲み物付き(費用:800円) ※必要な方は申し込みをしてください。
- ⑤7月26日までに申し込み受付が完了された方は、旅行傷害保険に加入しています。  
(申し込みに、生年月日が必要となります。)

### ◇子ども学校【OSAKA子ども冒険倶楽部(ぼうけんくらぶ)】

\*7月15日の申し込み締め切り後、持ち物、集合時刻・場所等についての連絡やしおりの発送を実行委員会よりさせていただきます。費用 20,000円 **\*定員:20名に達したため受付を終了しました。7月15日**

### ◇保 育 【もんちっち保育園】

\*7月15日の申し込み締め切り後、持ち物、幼児の受け渡し時刻・場所等についての連絡を実行委員会よりさせていただきます。費用8月1日と8月3日は、各3,000円 8月2日は、5,000円 **\*定員10名 申込み先着順です。**

### ●宿泊のご案内 ※部屋数に限りがありますので、先着順となります。

#### 箕面観光ホテル

8月1日(土)	1泊2食料金(バイキング夕食)	10,626円
8月2日(日)	1泊2食料金(文化交流の夕べ参加 飲み物含む)	15,286円
	1泊2食料金(文化交流の夕べ不参加 バイキング夕食)	10,626円

### ◇申し込みの方法

- ①参加申込書に必要事項をご記入の上、参加申込書を、FAX または郵送にて「下記」へご送付ください。  
\* 電話での申し込みはお受けできません。

#### 申し込みが済んだら⇒

- ②「請求書」を送付します。内容を確認いただき**1週間以内**に指定口座にお振り込みください。  
\* 振込手数料は申し込み者負担となります。あらかじめご了承ください。

#### 最後に確認を⇒

- ③ご入金確認後、「提案集」を送付します。  
\* なお、提案集は締切日までに申し込みをされた方に送付します。締切日以降の申し込み者には大会受付でのお渡しとなります。

### ◇申し込み先 および 申し込みについての問い合わせ先

国際ツーリストビューロー 〒650-0011 神戸市中央区下山手通6-1-4 オフィス下山手5F  
TEL:078-351-2110 FAX:078-351-2140 PHS:070-6504-5322 E-mail ktb@silver.ocn.ne.jp  
営業時間:平日(月~金)=9時00分~17時00分  
土曜=9時00分~12時00分【日曜・祝日は休業】 担当/榎本 一夫

※大会(子ども学校・保育)についての問い合わせは、大阪・みのお大会実行委員会事務局までお願いします。

(090-3826-3721 大阪・みのお大会実行委員会事務局)

### ◇予約の変更・取消

- \* 予約の変更・取消をされる場合は、お早めに、書面(FAX)にてご連絡ください。電話での申し出はお受けできません。営業時間外のお申し出の場合は、翌日などの営業日時間内での受付処理となります。ご注意ください。
- \* 返金先の口座(銀行名・支店名・口座番号・名義人)も必ずご明記ください。取消・変更によるご返金は大会終了後になる場合もございます。(振込手数料は申し込み者負担となります。あらかじめご了承ください。)
- \* 大会参加費は、大会提案集代金と申し込みや郵送やキャンセルにかかる事務経費合計3000円を差し引いて残金を返金いたします。
- \* 子ども学校・保育・文化交流の夕べ・弁当は、7月30日までは全額返金・7月31日は半額返金となります。8月1日以降はご返金できません。
- \* 宿泊の取消料は、宿泊日の前日から起算して20~8日前は20%、7~2日前は30%、前日は40%、当日は50%の割合で発生します。(いずれも営業時間内のお申し出に限ります。営業時間外は翌日扱いとなります。ご注意ください。)

## ○7月29日(水)まで申込みを受け付けします。

**なお、子ども学校(7月15日)、文化交流の夕べ(7月21日)は定員に達しましたので受付を終了しました。**

\* 宿泊、保育につきましては定員になりしだい締め切ります。定数に限りがありますので、お早めに申込みをお願いします。

# 第150回 学校体育研究同志会全国研究大会 大阪・みのお大会 参加申込書 (FAX送信・郵送用紙)

下記に必要事項をご記入の上、FAX送信、または郵送してください。( \* 欄は必ずご記入ください。 ) (業者記入欄)

		受付日		/		整理番号	
フリガナ		* 生年月日	西暦			* 性別	男・女
* 氏名			19	年	月	日( 歳)	
* 所属	会員( 支部 ) ・ 未会員	支援・保・幼・小・中・高・大・学生・他(←○をつけてください) (勤務先等)					
* 連絡先	自宅TEL	* 送付先住所(お申込み確定後に提案集を郵送します。)					
	携帯TEL						
	E-mail						

* 参加分科会(番号をご記入ください)	* 特別講座(英記号をご記入ください)
---------------------	---------------------

* 参加する日に○をつけてください。	参加費	学生参加費	記念講演のみ参加費	金額
8月1日(土)	3日間 9,000円	3日間 4,500円	1,000円	
8月2日(日)	2日間 7,000円	2日間 3,500円		
8月3日(月)	1日間 4,000円	1日間 2,000円		

◆大会参加費には大会提案集代金、分科会参加費、旅行傷害保険料を含みます。

## ◇宿泊・文化交流のタベ 申込み

宿泊ホテル	* 宿泊日・文化交流参加の有無(○をつけてください)	費用	金額
箕面観光ホテル	8月1日(土) 1泊2食		10,626円
	8月2日(日)	1泊2食 文化交流のタベ不参加	10,626円
		1泊2食 文化交流のタベ参加	15,286円
通い参加者	文化交流のタベのみ参加		8,100円

同室者希望があれば、ご記入ください
-------------------

お弁当	* 希望(○をつけてください)	費用	金額
8月2日(日) お弁当 (参加分科会会場までお届けします。)	必要 ・ 不必要	800円 (お茶付)	

## ◇子ども学校／保育申込み

	氏名	生年月日(年齢)	性別	学校	学年	希望日	金額
子ども学校			男・女	小・中	年	/	
			男・女	小・中	年		
			男・女	小・中	年		
保育			男・女			8/1 8/2 8/3	
			男・女			○をつけてください	

◆子ども学校費用(20,000円)

◆保育費用(8/1 8/3 3,000円 8/2 5,000円)

<b>合計金額</b>
円

<p style="text-align: center;"><b>【申込みに関するお問い合わせ先】</b></p> <p>【取扱旅行業者】 国際ツアーリストビューロー</p> <p>〒650-0011 神戸市中央区下山手通6-1-4 オフィス下山手5F</p> <p>TEL: 078-351-2110 FAX: 078-351-2140</p> <p>PHS: 070-6504-5322 E-mail ktb@silver.ocn.ne.jp</p> <p>営業時間: 平日(月~金)=9時00分~17時00分</p> <p>土曜=9時00分~12時00分【日曜・祝日は休業】 担当/榎本一夫</p>	<p><b>FAX送信先 078-351-2140</b></p> <p>郵送の場合は</p> <p>〒650-0011 神戸市中央区下山手通6-1-4 オフィス下山手5F</p> <p>国際ツアーリストビューロー 榎本一夫</p> <p><b>締め切り 7月15日(水)</b></p>
---	--

◇大会へのお申込者が2名以上の場合は、恐れ入りますが、この申込用紙をコピーして別々にお申し込みください。

◆この申込用紙は、同志会のHP(<http://taiiku-doshikai.org/>)からもダウンロードできます。